

(別表第4)

第三セクター情報公開資料

1 第三セクター名称等									
名称	株式会社 フォレスタ鳥海		電話番号	0184-58-2888					
所在地	秋田県由利本荘市鳥海町猿倉字奥山前8番地45		FAX番号	0184-58-2333					
設立年月日	平成8年2月20日		HPアドレス	http://foresta-chokai.com/					
2 資本金	215,000千円	市出資金	120,000千円	市出資割合 55.8 %					
3 事業内容	1. 秋田県営鳥海観光宿泊センターの管理運営(フォレスタ鳥海) 2. 上記に関する一切の事業								
4 財務状況(平成31年3月31日現在)									
貸借対照表から	項目	金額(千円) 税抜き			損益計算書から	項目	金額(千円) 税抜き		
		前々年度	前年度	本年度			前々年度	前年度	本年度
	総資産	45,998	37,041	29,175		総収入(売上高+営業外収益+特別利益)	206,380	209,828	212,722
	負債	30,409	34,174	34,487		(内市からの補助金・指定管理料)	20,000	13,900	21,660
	(有利子負債)	0	0	0		経常利益	△ 4,362	△ 25,161	△ 26,698
	純資産	15,589	2,867	△ 5,312		当期純利益	△ 5,731	△ 12,722	△ 8,179
	利益剰余金	△ 199,411	△ 212,133	△ 220,312		減価償却前当期利益	△ 5,103	△ 12,473	△ 7,909
5 役職員の状況(平成31年3月31日現在)									
取締役数(うち市出向者・退職者)	8 (退0)		正職員数(うち市出向者・退職者)	18 (退0)					
6 第三セクターへの関与の状況(単位:千円 税込み)									
(1) 公的支援(平成31年3月31日現在)									
項目	前々年度	前年度	本年度	備考(目的、内容、算出根拠等)					
①補助金(助成金)	20,000	13,900	21,660	第三セクター運営費補助金、国際観光推進事業補助金ほか					
②利子補給	0	0	0						
③税の減免額	0	0	0						
④その他	0	0	0						
小計	20,000	13,900	21,660						
⑤損失補償契約に伴う金利軽減額	0	0	0						
⑥出資金、低金利貸付等に伴う機会費用	0	0	0						
小計	0	0	0						
合計	20,000	13,900	21,660						
【参考】指定管理料(税込)	0	0	0						
(2) その他(平成31年3月31日現在)									
項目	前々年度	前年度	本年度						
①損失保証契約に係る債務残高	0	0	0						
②貸付金残高	0	0	0						
③出資金(増資等)	0	0	0						
合計	0	0	0						
7 添付資料 貸借対照表、損益計算書									

※本資料は、第23期決算報告書(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)に基づいて作成したものである。

決算報告書

(第24期)

自 平成30年 4月 1日

至 平成31年 3月31日

株式会社 フォレスタ鳥海

由利本荘市鳥海町猿倉字奥山前8番地45

0184-58-2888

第24期事業報告書

(自平成30年4月1日～至平成31年3月31日)

営業の経過

県内経済の概況は、個人消費は全体として穏やかに持ち直しの動きが見られ、製造業は穏やかに回復しており、雇用は高水準で推移していると判断される中での事業となりました。

売上比較 (単位：千円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	合計
29年度	43,347	74,142	50,183	25,160	192,832
30年度	40,119	67,402	54,209	27,844	189,574
比較	-3,228	-6,740	4,026	2,684	-3,258

損益比較 (単位：千円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	合計
29年度	-8,186	11,727	3,104	-19,367	-12,722
30年度	-11,218	8,006	12,698	-17,666	-8,180
比較	-3,032	-3,721	9,594	1,701	4,542

宿泊者数比較 (単位：人)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	合計
29年度	2,618	5,060	3,086	1,592	12,356
30年度	2,425	4,285	3,505	1,929	12,144
比較	-193	-775	419	337	-212

地域別宿泊者数比較 県内利用 (単位：人)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	合計
29年度	869	1,003	1,252	992	4,116
30年度	882	1,156	1,059	1,065	4,162
比較	13	153	-193	73	46

地域別宿泊者数比較 県外利用 (単位：人)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	合計
29年度	1,749	4,057	1,834	600	8,240
30年度	1,543	3,129	2,446	864	7,982
比較	-206	-928	612	264	-258

県外宿泊利用内、インバウンド年間比較（単位：人）

	台湾	タイ	韓国	その他	合計
29年度	570	130	72	44	816
30年度	974	31	60	8	1,073
比較	404	-99	-12	-36	257

第1四半期においては、総売上40,119千円、前年比3,228千円減。宿泊利用者数2,425名、前年比193名減。損益-11,218千円、前年比3,032千円減となり減収減益となりました。地域別宿泊状況は、5月・6月の県外個人宿泊が落ち込む結果となりました。ネットからの入込は561名（前年比92名増）となり、宴会利用においては売上で7,922千円（前年比13%減）となっております。日帰り利用においては、入浴利用者数で前年比5%減、レストラン利用者数で4%減となっております。販売管理費においては39,580千（前年比153千円減）となっておりますが、灯油の値上りもあり燃料費は878千円増となりました。なお、4月14日にはフォレスタ鳥海「応援大使交流会」を、6月25日には第23期定時株主総会を開催しております。

第2四半期においては、総売上67,402千円、前年比6,740千円減。宿泊利用者数4,285名、前年比775名減。損益8,006千円、前年比3,721千円減の結果となり大きな減収減益となりました。地域別宿泊利用状況は、前年はイベント等の宿泊があったことと、7月・8月のエージェント送客の減（前年比245名減）、県外宿泊利用の東北からの利用減（前年比290名減）により宿泊利用の大幅な減となりました。日帰り利用においては、入浴利用者数で7%減、レストラン利用者数で54%増となっております。販売管理費においては前年比1,571千円減となっております。なお、7月20日にはビールフェスタを、レストランをメイン会場に開催し、134名の方に参加をいただきました（売上804千円、利益179千円。）。

第3四半期においては、総売上54,209千円、前年比4,026千円増。宿泊利用者数3,505名、前年比419名増。当四半期に由利本荘市より施設運営の為の資金1,980万円をご支援いただき、損益においては12,698千円、前年比9,594千円増の結果となりました。地域別宿泊状況は、県外宿泊利用の増の大きな要因としては、エージェント送客の回復（前年比426名増、内国内320名増、インバウンド106名増）と鳥海ダム関連の宿泊増（464名、前年比407名増）があげられます。宴会売上においては前年比9%減（109万円減）となりました。日帰り利用においては、入浴利用者数で前年比1%増、レストラン利用者数で5%増となっております。販売管理費において前年比95千円増となり、燃料費・水道光熱費（244

万円減)、修繕費(47万円減)等は下がっておりますが、雑給(53万円増)、販売促進費(72万円増)、賃借料・車両費等は上がっております。なお、11月30日には日本酒を楽しむ会を開催し34名に参加していただきました(売上115千円、利益28千円。)

第4四半期においては、総売上27,844千円、前年比2,684千円増。宿泊利用者数1,929名、前年比337名増。損益においては-17,666千円、前年比1,701千円増となりました。地域別宿泊利用状況は、県外宿泊利用増の主な要因としては、インバウンドの増(前年比175名増)があげられます。日帰り利用においては、入浴利用者数で前年比1%増、レストラン利用者数で7%増となっております。販売管理費においては、前年比207千円増となっており、燃料代・水道光熱費は下がっておりますが(前年比120万円減)、支払手数料・修繕費等は上がっております。なお、3月22日には「旬の肴と新酒の夕べ」のイベントを開催し、100名の参加を得ております(売上528千円、利益211千円。)

当期総売上189,574千円、前年比3,258千円減。売上原価54,812千円、前年比403千円減。販売管理費164,408千円、前年比1,423千円減(内、人件費766千円減)。当期損益-8,180千円、前年比4,542千円増。宿泊利用者数12,144名(内、インバウンド1,073名)、前年比212名減(内、県内利用46名増、県外利用258名減)の結果となり、由利本荘市より多額の補助をいただいたにも関わらず、大きな損失を出す結果となりました。

当期において、上半期がエージェント送客の大幅な減等により大きな減収となり、下半期はインバウンドも含めたエージェント送客は前年を上回ったものの上半期の売り上げの落込みを挽回することができませんでした。

来期においては、地元利用の促進を図りつつ、秋に開通予定のグリーンラインの情報を早めに発信し、矢島スキー場とも連携をはかり、スキー場利用者の来館促進を進めて参ります。また、本格着工間近になりました鳥海ダム工事を宿泊利用増の機会と捉え、誘客に努めます。エージェント誘致については、新たなコースの提案等を進め誘致強化を図ります。なお、インバウンド誘致につきましては台湾・タイ王国を中心に由利本荘市、秋田県より情報をいただきながら誘致を進めます。今後においても由利本荘市並びに秋田県、関係諸機関と連携をとりながら事業を進めて参りますので、役員の皆様、株主の皆様、行政諸機関にはさらなるご指導ご支援を賜りたく、お願い申し上げます。

貸借対照表

平成31年 3月31日 現在

株式会社 フォレストア島海

(単位： 円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	27,861,474	【流動負債】	34,487,137
現金・預金合計	14,897,285	買掛金	3,131,721
売掛金	2,040,545	未払金	27,444,241
商品	5,282,911	預り金	1,057,620
貯蔵品	4,107,488	従業員預り金	2,455
前払費用	247,320	未払法人税等	1,071,800
未収入金	1,153,700	未払消費税	1,779,300
立替金	132,225	負債の部合計	34,487,137
【固定資産】	1,313,767	純 資 産 の 部	
【有形固定資産】	397,807	【株主資本】	-5,311,896
建物	2,318,300	資本金	215,000,000
建物附属設備	321,000	利益剰余金	-220,311,896
構築物	1,839,056	その他利益剰余金	-220,311,896
車両運搬具	24,967,619	繰越利益剰余金	-220,311,896
工具器具備品	9,995,363	(うち当期純損失金額)	8,179,362
減価償却累計額	-39,043,531		
【無形固定資産】	728,000		
電話加入権	728,000		
【投資その他の資産】	187,960		
長期前払費用	83,700		
保証金	50,000		
預託金	54,260	純資産の部合計	-5,311,896
資産の部合計	29,175,241	負債及び純資産合計	29,175,241

損 益 計 算 書

自 平成30年 4月 1日
至 平成31年 3月31日

株式会社 フォレスト鳥海

(単位： 円)

科 目	金 額	
【売上高】		
売 上 高	189,573,960	
売 上 高 合 計		189,573,960
【売上原価】		
期 首 商 品 棚 卸 高	5,916,217	
当 期 商 品 仕 入 高	54,179,158	
合 計	60,095,375	
期 末 商 品 棚 卸 高	5,282,911	
売 上 原 価		54,812,464
売 上 総 利 益 金 額		134,761,496
【販売費及び一般管理費】		
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 合 計		164,408,372
営 業 損 失 金 額		29,646,876
【営業外収益】		
受 取 利 息	308	
雑 収 入	2,977,794	
営 業 外 収 益 合 計		2,978,102
【営業外費用】		
雑 損 失	29,258	
営 業 外 費 用 合 計		29,258
経 常 損 失 金 額		26,698,032
【特別利益】		
固 定 資 産 売 却 益	370,370	
国 庫 補 助 金 等 収 入	19,800,000	
特 別 利 益 合 計		20,170,370
税 引 前 当 期 純 損 失 金 額		6,527,662
法 人 税 及 び 住 民 税		1,651,700
当 期 純 損 失 金 額		8,179,362

令和元年度営業計画

月別企画は下記の通りに進めてまいります。

エージェント受入目標数 3,100名 (内、インバウンド1,000名) 売上 3,400万円
 ネット関連予約受入目標数 2,500名 売上 3,300万円
 (前年度実績 エージェント受入2,975名、ネット関連予約2,365名)
 今年度は一般宿泊予約、日帰り利用等を合わせた合計20,300万円を目標に営業を進めて参ります。

(単位：万円)

月	企 画	内 容	企画経費	売上目標	備 考
4	宴会プラン	歓送迎会		130	
	冬期優待プラン			150	
5	宴会プラン	新緑	5	300	
	ランチバイキング	GWの期間	1	100	
6	宴会プラン	新緑		410	
7	宴会プラン			330	
	生ビール祭り		15	80	目標140名
8	宴会プラン			200	
	郷土フェア	郷土芸能の実演	3		
	お盆企画	西馬音内盆踊り送迎			
	ランチバイキング	お盆の期間		60	
9	宴会プラン	秋プラン	3	360	
	冬期宿泊券の販売		1	50	
10	秋の宴会プラン(紅葉)			670	
	ランチバイキング	日曜・祝日		50	
	冬期宿泊券の販売		1	60	
11	冬期優待プラン		16	70	
	ぬぐだまり・お得プラン	連泊プラン等		70	
	忘年会プラン		42	360	
12	忘年会プラン			310	
	ぬぐだまり・お得プラン	連泊プラン等		70	
	冬期優待プラン			100	
1	新年会プラン			140	
	スキーパック			100	販売価格変更
	ぬぐだまり・お得プラン	連泊プラン等		90	
	冬期優待プラン			300	
2	宴会プラン			230	
	冬期優待プラン			65	
	ぬぐだまり・お得プラン	連泊プラン等		140	
	スキーパック			100	
3	宴会プラン			200	
	ぬぐだまり・お得プラン	連泊プラン等		120	
	日本酒イベント		5	50	目標100名
	冬期優待プラン			200	
合計			92	5,665	

【広告宣伝費 214万円】

主な内訳

パンフレット印刷代 25万円
 テレビ・インターネット広告費 100万円
 雑誌広告費 35万円
 HP管理費 22万円
 その他広告費 32万円

【販売促進費 1,033万円】

主な内訳

宿泊プランの値引き分 150万円
 エージェント企画用 360万円
 リピーター予約 80万円
 リクルート・楽天 75万円
 特別優待券70万円 その他合計298万円

広告宣伝費・販売促進費合計1,247万円

